



山桜 (院内)

「令和」改元という時代の節目になった昨年は、天皇陛下御即位から「ONE TEAM」で盛り上がったラグビーワールドカップ等盛りだくさんでしたが、当院にとっては地域医療構想に関して、再検証対象医療機関として公表されたことが一番のトピックスではなかったでしょうか。地域の皆様にもご心配をおかけしましたが、2月に行われた愛媛県松山構想区域地域医療構想調整会議において、当院の再検証が行われ、現在の医療機能を維持するということで了承を得ましたので、お知らせしておきます。また、当会議におきまして、当院の機能維持について後押ししていただきました東温市医師会、愛媛大学附属病院および東温市の関係者様に、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

さて今年は大イベントである東京オリンピックが開催されます。院長もチケットを入手したとのことで、世間は盛り上がっているはずなのですが…この原稿を書いているころ(3月9日)は新型コロナウイルスの話題ばかりで、オリンピックに関して言え

ば、IOCの最古参の某委員が「事態が終息しなければ東京オリンピックの中止を検討するだろう」と5月までの判断が必要だと語ったという報道もありました。

また、安倍首相のイベントの中止や延期、学校の臨時休校等の対応要請もあり、イベントや会議等々が次々と中止や延期に追い込まれています。おまけに酒を飲むことくらいしか取り柄のない私にとって、送別会というイベントまで自粛させられてしまいそうで、この原稿を書きつつ多少の不安を抱いておりましたが…現実のものとなってしまいました。

暗い話ばかりで気分も滅入ってしまいますが、皆様がこれを読まれている頃には「明るい兆し」が見えていることを願うとともに、令和2年度が当院にとっても「明るい兆し」の年となるよう頑張っていきたいと思っておりますので、引き続きご支援のほどよろしくお願いいたします。

事務部長 竹歳 満

第15回 院内研究発表会

令和2年2月28日に第15回院内研究発表会が開催されました。今回は17演題の発表があり、それぞれの発表に対する質疑も行われて大変充実したものになりました。一方で、勤務時間内に発表会を行うため、演者の業務の都合とのすり合わせを行う必要があり発表時間の管理が大変でしたが、持ち時間を大きく超える発表もなく、座長の皆様にご配慮いただいたこともあってスケジュール通り終了することができました。多忙な中、時間をやり繰りして会に参加していただいた皆様にご迷惑をおかけすることもなく大成功であったと思います。

今回は、看護部、栄養管理室、医局、放射線科から発表がありました。毎年、発表の中から院長賞と臨床研究部長賞が選定されますが、今回は非アルコール性脂肪性肝疾患（NAFLD）症例の栄養管理に関する発表が院長賞、医療従事者の倫理に関する発表が臨床研究部長賞に選ばれました。栄養管理室からは毎回積極的に発表をいただいております。今回の発表も近年問題となっている疾患について栄養管理の面からアプローチした意欲的なものでした。倫理に関する研究は、さまざまな領域で課題となっている倫理の問題に取り組んだもので、今後さらに重要性を増す分野になってくると考えられます。

院内研究発表会は多くの方のご協力をいただいております。拙稿を結ぶにあたって、今回の開催に際して関わっていただいた皆様にお礼を申し上げます。

臨床研究部長 安原 美文



発表演題一覧

セッション1

- 1 フォルテオ自己注射の継続に向けた病棟看護師の支援
- 2 愛媛医療センター版口腔ケア手順表の各項目における有効性の検討
- 3 身体拘束解除が困難な患者に対するカンファレンス実施後の看護師の思考
- 4 骨折リスクの高い変形拘縮のある重症心身障害者の呼吸リハビリテーションの効果
- 5 A病棟看護師の倫理的感受性の変化について
～倫理カンファレンスに取り組んで～
- 6 特殊性の高い混合病棟勤務の看護師が抱えるストレスの実態調査



セッション2

- 1 当院 Transient Elastography 施行 NAFLD 患者の栄養調査および臨床的検討
- 2 当院における NAFLD 症例の栄養素・食品摂取状況と臨床検査値
～栄養指導の有無で比較して～
- 3 当院における貧血診療の現状
- 4 大腿骨近位部骨折術後の貧血および疼痛の評価
- 5 重症心身障害者病棟での呼吸器ウイルス感染症の流行について
～病原呼吸器ウイルスの検索と臨床事項との比較～
- 6 胸部CT画像が高精細になったことによる画像診断業務への影響について

セッション3

- 1 X線撮影の再撮影管理
～ASSISTA Managementを用いて、再撮影ゼロへの取り組み～
- 2 CT検査での医療被ばくと国内実態調査結果に基づく診断参考レベル（DRLs2015）との検証について
- 3 患者用クリニカルパスの改訂に向けての取り組み
～高齢患者に対するオリエンテーションの実践に基づく考察～
- 4 重症心身障害児（者）病棟におけるストーマ造設患者への小麦ふすまを用いた排便コントロールの効果
- 5 当院の重症心身障害児（者）におけるカルニチン欠乏に対する検討



院長賞を受賞した田中栄養管理室長（右）と
臨床研究部長賞を受賞した木下看護師

地域の輪



今回は当院の外科です

繋がる地域医療連携

平成21年の外科の常勤医の復活によって、東温市で外科手術を行う病院は、ふたたび愛媛大学と愛媛医療センターとなりました。当院では平成23年から3名の外科医としての体制を整えています。

外科の診療内容としては、東温市近傍にお住まいの人をはじめ、心臓や肺の疾患、神経難病、結核や重症心身障害といった当院に特徴的な診療を受けている人を背景に、急性虫垂炎や胆嚢炎、腸閉塞、気胸そして膿胸といった緊急性のある疾患に対して、手術治療をしています。

緊急性はないものの、日常生活で困る疾患として鼠径ヘルニアや痔核、下肢静脈瘤などがあります。特に鼠径ヘルニアは、放っておくと、内臓がはまり込み抜けなくなる、いわゆる嵌頓が懸念されます。緊急手術でも命が助からないことがありますので、早めにご連絡いただければと思います。

加えて、呼吸器・消化器の悪性腫瘍は、当院から非常に距離が近い四国がんセンターで手術を受ける人が多いのですが、当院でもこれらの疾患に対する標準的な手術と化学療法を行っています。

これら手術に胸腔鏡や腹腔鏡で行うことも比較的多く当院で行う全手術の48%を占めます。この方法は、鍵穴のように小さい傷で手術を行うこと

から、keyhole手術と呼ばれます。

平成28年度からは松山医療圏の二次救急体制へ参加いたしました。外科手術を必要とする患者さんはますます増加すると思いますが、開院80年を迎える愛媛医療センターにふさわしい外科となるように、日々精進を重ねていきたいと思っております。

外科医長 鈴木 秀明



外科医師と手術室スタッフ

前列左から：湯汲医師 鈴木医長 森本医師

医心伝心

SAS外来のおはなし

睡眠時無呼吸症候群(SAS)は夜間睡眠中に呼吸が止まったり止まりかけたりすることで十分な睡眠がとれなくなり、日中の過度の眠気や脳梗塞・不整脈など危険が高まる疾患です。SASの診断・治療を行う部門として2012年に当SASセンターが設立されました。現在は毎週金曜の午後に診療を行っています。

SASの診断には1泊入院でのポリソムノグラフィ(PSG)検査、または在宅での簡易PSG検査を行います。

重症度に応じて、マスク式の持続陽圧呼吸療法または口腔内装具での治療をお勧めしています。口腔内装具は歯科での作成が必要ですが、当院には歯科外来がありませんので、他院に紹介させていただきます。耳鼻科の介入が必要な場合は、他院耳鼻科に紹介させていただくこともあります。

在宅持続陽圧呼吸療法の必要な患者様はSAS外来で導入します。外来での導入には不安を感じられる患者様もおられるかと思いますが、導入時を含め初め4回の受診時には医師、看護師、業者な

どが30分以上かけて操作やトラブル時の対応、より快適に使用するための工夫などを指導させていただきます。

当院では高齢の患者様が比較的多く、2016年度以降に治療導入された患者様の47%は70歳以上(最高齢は84歳)となっています。治療開始後3カ月の継続率は約89%、1年継続率は約75%となっており、遜色のない成績と考えております。

SASは肥満、糖尿病、高血圧に合併することが多く、脳梗塞や心筋梗塞の二次予防のためにもSAS治療は有益です。当センターは完全予約制ですので、受診を希望される場合はかかりつけ医にご相談ください。

SASセンター長 渡邊 彰



ウイルスをやっつける！

家庭でできる感染対策

掲載される頃には、日本でも世界でもどうか新型コロナウイルス感染症に関連したさまざまなことが落ちつきを取り戻せていますように、と願いながらこの原稿を書いております。

報道などでも再認識されていると思いますが、日々の生活の中で重要なことの一つに手洗いがあります。洗う場所を意識して手洗いすることが大切です。手のひら、手の甲、指の間、指先、親指、手首、左右それぞれを意識して洗ってください。

石鹸で手洗いする場合は全体を30～60秒かけて、最低15秒は石鹸で手を擦る（手荒れをおこすので力を入れすぎないでください）、もみ洗うことをお勧めします。洗う場所と洗い残しがないように意識しながら手洗いをすれば、このくらいの時間はかかるとおもいます。もともとは小さいお子さんにわかりやすいようにとの工夫から始まったよ

うですが、「きらきら星」の替え歌を利用する方法もあるようです。

ご家庭で手を拭く際には清潔なタオルを使用し、擦らず押し拭きしてください。ご家族が感染症にかかっている場合にはタオルの共用はしないでください。日頃から共用を避けるとなお良いと思います。

手洗いの回数が増えると手荒れをおこしやすくなります。手荒れをおこすと皮膚の防御機能が低下してしまいます。ハンドクリームなどでこまめに手荒れを予防しましょう。



呼吸器内科 佐藤 千賀

院内クリニカルパス大会 実施

患者さんが、これから受ける治療や検査についての工程表（計画表）を、クリニカルパス（パス）と呼びます。医師や看護師、その他のメディカルスタッフが、患者さんに対して実施する医療ケアの標準的な計画を記した「医療者用パス」と、当院の標準的な医療ケア計画を、患者さんやご家族にとってわかりやすいように記した「患者用パス」があります。

当院では、この数年、現在の治療に見合ったものを作成することと、患者さんの高齢化も踏まえて、患者さんにわかりやすい説明資料の作成を目指してパスの改訂作業に取り組んでいます。

令和2年2月5日、「2019年度 院内パス大会」を開催しました。日頃のパス活動の報告や、作成したパスの使用状況、パス作成時の苦労した点、工夫した点など、さまざまな角度からの発表を7部署の看護師が行いました。

今年度は、オーダリングシステムが導入されたこともあり、紙カルテとオーダリングシステムをどのように連動させるか、多職種で関わるために

どのような工夫が必要か、などがキーワードになっていました。

そして、一年間の成果を発表する中で、どのような活動をしてきたか、また、今後どうするべきか、日頃、縁の下の力持ちで活動している委員の考えていることが手に取るように分かりました。日頃の活動状況、他部署の状況などが分かり、とても有意義なパス大会でした。今後もよりよいパス作成、委員会活動に取り組んでいきたいと思ひます。

看護師長 小野 妙子



医療安全管理室 だより こんなことしています

リハビリ職員が喀痰吸引

2010年3月、厚生労働省「チーム医療の推進についての検討会」の報告

において、理学療法士、作業療法士及び言語聴覚士（以下、療法士等）による喀痰吸引の行為を合法化することが決定されました。

吸引とは、痰や唾液などを自分の力だけでは十分に出せない場合に、器械を使って出す手伝いをする事です。患者さんにとって吸引は、決して楽なものではありませんが、痰や唾液を取り除くことによって、呼吸を楽にし、肺炎などの感染症を予防するために必要な行為です。従来、この吸引は主に看護師が行っていましたが、リハビリテーション途中に吸引が必要になる場面も多くあり、リハビリ訓練により排出される痰を速やかに、また効果的に除去するために、吸引は療法士等が実施できる行為と位置付けました。

そこで当院でも療法士等が専門性を十分に活かし、安全で質の高いリハビリを提供できるよう、業務範囲の拡大として喀痰吸引を開始しました。喀痰吸引を行う際は、安全な業務として行えるように、喀痰吸引マニュアルや教育プログラムの作成、研修や実技チェックを行いました。そして昨

年11月から研修を受けた療法士等による吸引を開始しました。実際に吸引を行った療法士からは、「訓練中に患者さんをお待たせすることなく喀痰、もしくは誤嚥予防の為に吸引を素早く行うことができ、訓練の質や安全の向上につながった。」という意見が聞かれています。

今後も研修、教育を重ね、多職種との連携のもと、患者さんへ安全に吸引が実施できるよう、知識や技術の向上を行っていきたいと思います。

医療安全管理係長 佐久間 千代子



喀痰吸引モデルで練習中の職員

四季燦餐 ～カツオの巻～

心地よい風と陽気に包まれ、春の訪れを感じられる季節となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。少しずつ春の訪れを知らせてくれる食材を目にする機会も増えてきたのではないのでしょうか。

今回は、高知県の名物「たたき」で有名な「カツオ」についてご紹介します。「たたき」は、土佐で山内一豊がカツオを生食し中毒を起こす人が増えたことで生食禁止令を出した際、表面を炙って焼き魚に見せかけたのが始まりと言われています。

「カツオ」には、春と秋の2回旬があり、それぞれ「初カツオ」「戻りカツオ」と呼ばれ古くから親しまれています。一般的には、初カツオより、戻りカツオの方が産卵する為に体に栄養を蓄えているので、脂がのって濃厚な味わいになっていると言われます。

脳の働きを活性化してくれるDHA、血栓を予防する働きがあるEPA、血行を促してくれる働きが

あるビオチン、肝機能を助けてくれる働きがあるタウリン、疲労回復・抗酸化作用のあるイミダゾールジペプチドなど、たくさんの栄養素が含まれています。

たたき・刺身・カルパッチョなど、生もしくは生に近い状態で食べる機会が多いカツオですが、炊き込みごはんや油でカラッと揚げるメニューもおすすめです。洋風を好まれる方には、フライにしてタルタルソースをかけたり、和風を好まれる方には、醤油や生姜などを使ったあっさりした味付けで、竜田揚げや唐揚げにしてみはいかがでしょうか。

加熱して食べる際は、硬くなり、パサパサした食感になるので、あまり火を通しすぎないのが美味しく食べるポイントです。



看護学校の頁 ～学び舎から～

新型コロナウイルス感染の影響で、第16回卒業式が中止となりましたので、記事に代えて、卒業生が残した答辞を一部抜粋して掲載させていただきます。

梅のつぼみもほころび始め、寒さの中にも春の息吹が感じられるようになった今日、私達3年生34名は卒業の日を迎えることができました。(中略)

今日に至るまでの3年間は、一瞬のようでもあり、とても長い時間だったようにも思います。これから看護師や自分の目指す道に進む私達にとって、意義のある、とても貴重な時間でした。不安と希望を胸に入学した3年前、慣れない学校生活や初めて触れる専門用語や看護技術に戸惑いながらも、あつという間に日々が過ぎていきました。(中略)

これまでの3年間の患者さんとの関わりや実習指導者の方々や先生方からの助言は一つひとつ胸に残っており、看護師となる私を築くものとなり、看護師になりたいという気持ちに自信を持つことができました。そして、患者さんをはじめさまざまな方の支えにより

今の私たちがいると改めて感じます。皆様への感謝の思いを胸に、これからも自分たちの目指す道に進んでいきたいと思えます。(中略)

私たちはこれから、さまざまな道に進んでいきます。実習や学校生活の中で学んだ知識や看護技術だけでなく専門職としての自覚を忘れず、日々精進していきたく思います。最後になりましたが、私たちを受け入れてくださった患者さんや実習施設の方々、学校長先生をはじめとする先生方などに改めて感謝するとともに、卒業生代表としてここでもう一度感謝の言葉を申し上げ答辞とさせていただきます。3年間、本当にありがとうございました。

令和2年3月4日
卒業生代表 岡田 実奈



※本校は看護師国家試験に全員合格しました!

卒業式に代えて…

ちよつと言い放し

愛媛医療センターニュース編集委員の持ち回りでお届けします。

いろいろな文化が交流した所は栄えています。そこでは、違った見方や考え方をする人が出会って、お互いに認めあつて一緒に生きた結果栄えてきたようです。お互いの違いを認め合うことで、それまで触れたことのない思考体験ができた、生きていくために相手を受け容れる気持ちが生じたのではないのでしょうか。そのようなことが刺激となつて、従来のモノよりも優れたモノを作れたり、人を大事にする社会や街づくりに発展したと考えます。

仕事を軸に考えたとき、同業者など同質な人間の集まりでは、調整の過程は簡単ですが思考は閉塞的で限定的で、問題によっては解決できない可能性がります。異質な人間の集まりではどうでしょう。言語や生まれや育ちも違つたとすると、まずはお互いのことを知ることからはじまり、仕事どころではなくなるでしょう。この相互理解の過程を乗り越え、そして「違い」をリスペクトしたり楽しみながら乗り越えられれば、想像がつかないような角度から問題解決ができそうな気がします。楽観主義的と思われるかもしれませんが、少なくとも前者では先細りで将来はないと思われま

先日、テレビでイヌと人間のお付き合いの原点を探る番組がありました。私たちの先祖様が狩猟生活をしていたころ、人間もオオカミもそれぞれの社会を築いて繁栄してきたライバル関係だったようです。オオカミ社会の中でも序列があり、生来気が弱い個体は、協働して狩った獲物にもかかわらずありつけないことがあつたようです。この状況に耐え切れず、群れを離れ人間社会に近づき、その食べ残しで飢えをしのいだものがいたようです。それがイヌの先祖とのこと。かつてオオカミの仲間をやっていたように、敵の接近をいち早く人間に知らせることで人間の社会に受け入れられていったという仮説を紹介していました。

人間とイヌでは種から違うのですが、お互いにないものを補完して繁栄しました。イヌは人間とコラボすることでオオカミよりも繁栄して今日に至っています。

多様性という言葉をよく耳にする昨今、少数派であってもその生き方は大事にされなければなりません。違いを持つ存在を肯定することから発展、繁栄の糸口が見いだされる可能性は大きいと思えます。違いを多少の損得で否定せず、ともに歩むことを大事にしたいですね。

みんなちがってみんないい



外来診療担当医表

内科外来直通電話 089-990-1834
外科外来直通電話 089-990-1835

診療科	診察室	午前・午後	月	火	水	木	金
循環器内科	6診	午前	船田	船田	泉	岩田	関谷
		午後		岩田			
	11診	午前					
		午後			船田		
	12診	午前					
		午後			泉		
消化器内科	9診	午前	古田	山内(一)	久保	山内(一) (糖尿病専門)	久保
		午後					
	12診	午前			廣岡	大藏	
		午後					
呼吸器内科	10診	午前	阿部	伊東	佐藤	阿部	伊東
		午後					
	11診	午前		渡邊		仙波	山本
		午後					
脳神経内科	12診	午前	尾原	戸井			戸井
		午後	大八木			尾原	
整形外科	15診	午前	宮本			宮本	担当医(初診のみ)
		午後					
	16診	午前	玉井		玉井		
		午後					
リハビリテーション科	15診	午前		曾我部	曾我部		
		午後					
外科	14診	午前					
		午後		石丸			
消化器外科	14診	午前		鈴木	森本	渡部(第3週)	
		午後					
呼吸器外科	14診	午前					湯汲
		午後				佐野(第4週14時30分~)	
小児科(神経外来)	14診	午前					
		午後	菊池		濱田		菊池

専門外来(予約制)		月	火	水	木	金
心臓外科外来	14診					泉谷
ペースメーカー外来	13診				第2・4(午後)	
糖尿病外来	11診					神崎(月1回)
フットケア外来	小児面談室				毎週	
スキンケア外来	救外		第1・3(午前)			
ペインクリニック	12診			山内(康)(午前)		
じん肺外来	13診					西村(第1・3午前)
アスベスト外来	14診		午後		午後	
息切れ外来	11診	渡邊(13時30分~)				
SAS外来	11診					渡邊(14時~16時)
頭痛外来	13診				永井(第2・4午前)	
神経難病	13診			橋本		

※外来受付は8時30分から12時までです。内科は13時から16時までです。(紹介状のない初診の受付は15時までです) 2020年4月1日現在
ただし、土・日・祝祭日・年末年始(12月29日~1月3日)は休診です。
※SAS(睡眠時無呼吸症候群)

独立行政法人国立病院機構 愛媛医療センター

〒791-0281 愛媛県東温市横河原366 TEL 089-964-2411 FAX 089-964-0251
ホームページアドレス <https://ehime.hosp.go.jp>

※弊紙の基本方針として、掲載写真については原則ご本人様の了解を頂いております。

※弊紙へのご意見ご要望ご感想は、当センター内病院新聞編集委員会(担当:小倉)までお寄せください。